



第17回JUAAビジネス・スクール シンポジウム

1) 概要

開催日時 : 2025年9月24日(水) 13:30~15:45

開催方法 : Zoom

参加者数 : 39名

テーマ : 「Beyond Accreditation~認証評価の軌跡と展望~」

登壇者 : 高田 仁氏 (大学基準協会経営系専門職大学院認証評価委員会委員長、
九州大学大学院経済学研究院産業マネジメント専攻教授)

安部 和志氏 (ソニーユニバーシティ学長)

澁谷 覚氏 (早稲田大学大学院経営管理研究科教授)

露木 恵美子氏 (中央大学戦略経営研究科教授)

目代 武史氏 (九州大学大学院経済学研究院産業マネジメント専攻教授)

横山 研治氏 (大学基準協会経営系専門職大学院認証評価委員会副委員長、
名古屋商科大学ビジネススクール研究科長 (涉外))

2) 内容

<開会挨拶>

横山 研治氏

(大学基準協会経営系専門職大学院認証評価委員会副委員長、
名古屋商科大学ビジネススクール研究科長 (涉外))

開会挨拶では、専門職大学院認証評価制度開始からおよそ20年が経過した現在、日本の専門職大学院が、実務家中心の教員体制や高いカリキュラムの柔軟性など、世界には類のない固有の発展を遂げていることが指摘され、今後も引き続き日本固有の発展を目指すか、国際標準に則った発展を目指すかを決定すべき段階にあると問題提起がなされました。

<基調講演>

安部 和志氏

基調講演では、安部 和志氏より、「ソニーグループにおける経営人材の育成・登用の取り組みとその変遷」と題した講演が行われました。

<パネルディスカッション>

コーディネーター : 高田 仁氏

パネリスト : 安部和志氏、澁谷 覚氏、露木恵美子氏、目代 武史氏

パネルディスカッションでは、九州大学、中央大学、早稲田大学の各ビジネススクールの方々も登壇し、「経営系専門職大学院の未来像とその可能性」をテーマに、議論が交わされました。



<閉会挨拶>

高田 仁氏

(大学基準協会経営系専門職大学院認証評価委員会委員長、
九州大学経済学府 産業マネジメント専攻 教授)

閉会の挨拶では、パネルディスカッションでの議論も踏まえ、AIなどの技術革新が進む現代においては、多様な考えを持つ人々をまとめ、経営の方向性を示し動機づけする「タウンホール・ミーティングのマイクを握る」リーダーの育成が課題であることが述べられました。

3) ワークショップを振り返って

第17回となる本シンポジウムは、日本の経営系専門職大学院の未来像と可能性を多角的に議論する場となりました。

閉会挨拶では、日本のビジネススクールが上述のような独自の発展を遂げており、今後の方向性を決定すべき岐路に立っているという課題が提起されました。

これに対し、基調講演では、企業側の視点から企業文化を核とした人材育成の重要性が強調されました。同時に、変化の激しい時代において、企業外部のビジネススクールが有する最新の専門的知見やコンテンツを積極的に活用する産学連携の必要性が訴えられました。

続くパネルディスカッションでは、九州大学、中央大学、早稲田大学から、各校の先進的な取組みが紹介されました。その後の議論全体を通じて、人材の流動化が進み個人のキャリア自律が求められる現代において、ビジネススクールには知識提供だけでなく、個人の内面的な成長を支える伴走支援の役割が期待されていることが浮き彫りになりました。

専門職大学院制度の創設から約20年以上経過し、次の10年、20年に向けた未来像とその可能性について考える場として、参加者からも高い満足度を得ることができました。登壇者の先生方、参加者の皆さまにおかれましては、ご協力に心より感謝申し上げます。本協会では、今後も各経営系専門職大学院の発展に向けた取組みをすすめてまいります。

(大学基準協会 事務局)

以上